



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol.38 No.2386

■2011～2012年度RIテーマ：

こころの中を見つめよう、 博愛を広げるために

2011～2012年度RI会長 カルヤン・バネルジー



新日地域交流施設
「和が舎」

画/百瀬達夫

■2011～2012年度士別RCテーマ：

人と人を思いやる 心をもって前進しよう

■例会場/士別グランドホテル

■例会日/毎週月曜日 12:10～13:10

■事務所/士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234

■会長/渡辺正一 ■副会長/藤吉敏博

■幹事/伊藤優市

今日のプログラム

第2468回例会 2012年5月21日(月)

■ 5月14日の記録 ■

- 司会 高山 稔 会場監督
- 斉唱 我等の生業
- 本日の出席 会員51名中 出席者35名 出席率68.63% 修正74.50%
- 本日の欠席 今井 裕、輿水広志、近藤峯世、佐藤元信、汐川泰晴、鈴木 勉、佐藤和彦、谷 温恵、近井孝義、松永光司、野 英俊、深尾幸夫、宮田喜久三郎、田中 全、黒田康敬、細川博司

- メイクアップ
- ビジター
- ゲスト
- ニコニコBOX

士別市総務部財政課課長 法邑和浩様

深尾幸夫会員(士別、名寄交流ゴルフコンペ、士別同好会で優勝)

累計299,000円

例 会 予 定

■5月の予定

- 5月7日(月)/例会、理事会
- 5月14日(月)/例会
- 5月21日(月)/例会
- 5月28日(月)/夜間例会

■6月の予定……………《ロータリー親睦活動月間》

- 6月4日(月)/例会・理事会
- 6月11日(月)/特別休会
- 6月18日(月)/例会
- 6月25日(月)/夜間例会

■会務報告……………渡辺正一会長

●本日のゲスト卓話に士別市財政課財政課長 法邑和浩様には業務多忙のなか例会に御出席下さいまして有難う御座います。講話内容は24年度の市の予算等について、お話を20分程度ですが私達の解らない点が多々ありますので宜しく願います。24年度予算の中でマニフェスト事業がスムーズに進んで下さいますよう重ねて願いますと同時に私達も市民の一員ですので微力ではありますが協力をさせていただきます。

次は新入会員の件です。7日の理事会で全員一致で承認頂きましたので御報告致します。お一人は有限会社もり屋 代表取締役社長 森竹忠廣様、職業分類は菓子製造業です。もう一人は士別浄化工業(株)社長 片庭隆暁様です。6月25日の夜間例会でお二人をお招きして御紹介したいと思っておりますので宜しく願います。

■幹事報告……………伊藤優市幹事

●美深で開催されますIMに17名の参加登録を頂きました、大変有難う御座いました。登録料8,000円に付きましては今月末までに会計の奈良様までご入金下さい。当日のスケジュールに付きましては、後日ご案内をさせていただきます。又、パネルディスカッションのパネラーには神田英一会員にお願いしてあります。宜しく願致します。

●6月2日に開催されます、紋別港ロータリークラブ40周年記念式典に当会としまして渡辺会長、大野裕一郎会員、千葉道夫会員、神田英一会員の4名の出席予定です。

●美深ロータリークラブより例会案内並びに会報が届いております。資料台に置いてありますのでご観覧下さい。

■ゲスト紹介

●プログラム委員会……………山本俊一委員長
法邑和浩様。士別市総務部財政課課長さんであります。本日は2012年度の士別市の予算について講話をして頂きたいと思っておりますので、宜しく願致します。

■卓話……………法邑和浩様



日頃からロータリークラブの会員の皆様には様々な立場から行政にご協力を頂いておりますことに、お礼を申し上げます。又、本日はこの様な席に機会を設けて頂きま

して、参加させて頂き大変感謝を申し上げたいと思っております。

2012年度の士別市の予算についてですが、財政状況の説明ですと1時間以上ないと説明しきれないんですが、予算についてということなので解りやすい説明をしたいと思っておりますが、20分程度なので概要的なことになりかと思っておりますが、ご了承をお願いしたいと思います。又、予算概要に付きましてはすでに記者発表、議会、ホームページ等でご承知と思っておりますので、今日は少し違った角度からの説明も交えながらお話をさせて頂きたいと思っております。

資料の1ページに載せてますのは予算編成の流れ、スケジュール的なもので、これはあまり直接市民には関わりのないことですが、簡単にご説明をさせていただきます。予算編成とは10月ぐらいから財政課で来年の予算はこういうふうにしていくといった方針を立てます。職員に説明をしまして、そこから各課において予算要求をすることになっていきます。市の経費については大きく2つに分かれており、1つは経常経費と云われる部分で、人件費、施設の管理費、医療費、除雪費といったことで、毎年経常的に支出されるもので、あまり政策的判断を伴わないという経費です。12月に要求され、財政課で一定の査定を入れます。査定とは減額を含めて良いとか悪いとか査定します。その後12月に政策予算を、これはマニフェスト事業等、市長の政策的判断を伴うものになります。ここには平成23年から地域担当職員という市役所の職員が張りつけており、職員が出向いて地域の政策懇談会等も行っており、或いはこども夢トークやまちづくりふれあいトーク等、こうした市民からの声も反映させて各部で予算を要求するというようになっております。その後1月に各部で市長に対し

てヒヤリングを行い、各部と財政課と協議をするのちに計数整理と言っていますが、市長が次年度の予算を「こんなことでどうだろう」ということで一定の整理をする訳なんです、その後議会に提案をしまして可決を頂ければ執行していくという流れになっています。ただ、24年度の特徴的な部分で言うと財源不足が特に大きい年であり、本来の1月下旬の市長の計数整理というのは1回やれば済むんですが、24年度に限っては一旦計数整理を行ったあと再度予算を切り詰めるといったような厳しい予算編成になったところであります。

2ページに24年度予算編成、どうした課程を踏んだかというイメージを作ってみました。まず歳出の予算について、各課からの要求をトータルしますと167億円の事業費の要求がありました。歳入の方は151億9千万、不足分が15億1千万です。これだけ要求段階で不足額があり、今年予算はどうしようかと私も悩んだところですが、去年は8億程度、今年は15億ということで、物凄く歳入不足が生まれました。それが査定後は歳出は161億円ということで、財政の方で減額したり事業の先送りをしたりして6億円程度歳出を圧縮したような格好になりました。一方歳入は151億9千万だったものが152億3千万まで、これは担当で計上してきたものが歳入についてもうちょっと出せるのではないかということで、引き上げた部分、さっき歳出を削ったと言いましたが、歳出に伴って国の補助金や付いてくるものも逆に落ちてしまいますので、そうした分の差っ引きで若干の歳入の伸びが結果的になりました。そうしますと依然161億と152億3千万の差ですから8億7千万の不足であります。不足財源について最終的に起債を増加して発行しました。本当は借金をあまりしたくないんですが、やむ終えないということで、起債額を増やし1億9千万。それから地方交付税の引き上げということで書いていますが、国から地方交付税が何十億くるだろうという見込みをしますが、本来見込み一杯まで予算措置してしまいますと、余力がないので何とか余裕を持って予算編成をしたいので、通常年だと留保額ということで2、3億程度残すんですが、24年度に限っては留保も出来なかったということになっています。更に足りない部分は、基金の繰り入れということで、基金というの

は市の貯金を崩すことですが、そうした対応でその他の基金で7千万、財源の不足を生じた時に活用する財政調整基金というのがありますが、これを5億円取り崩すような予算を組んだということです。この5億の基金を崩すというのはこれまでなく厳しい予算の編成になったということでありました。

3ページに24年度については予算をなんとか組んだところであり、一般会計から始まり各会計の予算規模を載せております。市の会計は様々な種類があり、目的、用途により違った財布を持ち管理するといったようなことで、市には12の会計があります。一般会計は文字通り一般的な行政経費全般を管理する会計になります。特別会計はそれぞれの特別な目的を持った会計になります。更に病院・水道会計については企業会計と云っていますが、中でもより収益性の高い利潤を追求する会計ということで、本来は独立採算制を取っておりますので、そこから生じる利用料等だけで経営するというのが原則であります。ただご承知の通り病院事業会計に於きましては決してそうっていない状況があり、市の方から多額の繰り出しをしている状況にあります。病院というのは民間と違いまして不採算部門を抱えなければならないといった使命もありますので、多少はやむ終えない部分もあります。予算規模の内容ですが24年度の一般会計については160億9700万円、前年と比較すると0.8%ほどのマイナスではありますが、ほぼ前年並みの予算であります。特別会計は68億2500万円と前年より4%伸びています。企業会計については67億7千万と前年より21%伸びています。合計しますと296億9700万と前年より4.7%前年より伸びている予算規模となったところです。

一般会計からの繰出金のグラフを作ってみました。各会計で予算が足りない等、国のルールに基づく繰出しもありますし、収支不足が生じて繰出さなければならないという繰出金もあるわけですが、一般会計からお金をその会計に援助することになっています。圧倒的に病院に対する繰出しが多いという状況で、24年度の当初予算に於きましては9億3800万円の繰出し予算を計上したところです。9億のうち国の方から地方交付税という形で措置される額は3億程度しかありません。残

りの6億以上は市の単独の持ち出しということになっていまして、市の財政も大変圧迫している状況になっています。こうした交付税をかなり上回って繰出しをせざる終えないんですが、道内においては根室は土別と同じか、或いは多額の繰出しをしている状況にあります。病院の経営については厳しい状況にあります。

4ページは全会計におきます投資的経費の状況で公共事業に近いような予算になっており、市内の経済効果をもたらす予算で財政が厳しい状況にあっても一定の確保に努めなければならないということで計上した予算であります。投資的経費は単なる工事請負費だけではなく関連する業務委託、工事の保証費が100万以上の多額の備品の購入費なども含まれております。一般会計、特別・企業会計を合わせると32億6千万円となり、去年よりも3千万円程減といった状況に有りますが、ほぼ前年並みの投資事業で確保したことになります。30億規模の投資事業というのは22年から3年連続しており、22、23年あたりは国の経済対策等もありましたので伸びていた訳ですが、24年についても30億を確保したことになっております。平成5年から7、8年当時50億や60億の時代もありましたので、当時から見ますと半減ということですから、国、道の公共事業も減っており、建設業の方々にとっては大変な条件にあると考えております。主な内容は記載しております。次に地方債残高の状況、いわゆる借金の状況を載せております。一般会計においては22年度末は235億円の借金残高がありましたが、24年度末の見込みでは232億で2億数千円減少する見込みをしております。特別、企業会計は記載のとおりで合計においても22年度と24年度ではそんなに変わっていない状況になっております。市民一人当たりで換算すると、163万程でかなり多い額になっています。道内では夕張市が一人当たり400万を超えています。もちろん全国一の借金ですが、道内に限って言いますと夕張について歌志内市、土別市、深川、網走といったような市はかなり借金もかさんでいるような状況になっております。ただ土別の場合借金残高のうち約半分近くは地方交付税という形で国の方から措置される見込みになっており、純粋に丸々借金ではないということも説明させて頂きたいと思っております。

借金はこれからの世代の市民負担となってしまいますので、少ないほうが越したことはありません。財政の運営方針によっても返す元利償還金よりも新たに借りる借入額は抑えようという方針でやっておりますので、極力減らしていくような考えでやっていきたいと思っております。

5ページに貯金の状況を載せております。この中で重要なのが財政調整基金です。年度間における財源不足の際の調整機能を果たす重要な基金です。これが無くなると大変厳しい状況になりますので、なんとか確保については頑張っただけで残していこうということでもあります。基金全部で22年度末で19億8千万円程です。23年度末の見込みで21億5800万、これが24年度末になると15億7900万とどんどん減っているようにこの表ではなっております。ただこの表は予算上の作りをしており、決算見込みにおいては崩さなければならないと考えていた基金も取り崩しの停止をできるような見込みにありますので、おそらく24年度末の記載残高におきましては更に3億、2億多い基金額を残せる見込みをしております。下にふるさと応援基金の充当予定事業ということで載せております。20年度から開始しましたふるさと基金です。23年度に全国から473件の方々から570万円程の寄付を戴いております。本当に有り難いお話ではありますが、内容を見てみると関東圏の方からの寄付が一番多いんです。次に関西圏からで殆んどが一人1万円の寄付となっており、ここ数年件数も伸びてきております。ジーンズカン、いももちセット、野菜セット、メロン等の特産品の贈呈をしているのが効果的だったのかと考えております。戴いた寄付のうち24年度の予算に使わせて頂こうというのが上の表で、約310万程の寄付金を活用して事業を組ませて頂いております。是非皆様のお知り合いの方にも何らかの折に土別でふるさと寄付をやっていますということでPR等をして頂ければと考えております。6ページは24年度に予算計上しました Manifesto の事業となっております。市長の市民に対する公約ということで、7ページ下にトータル事業費或いは財源内訳を載せております。ハードソフトを合わせると7億5千万の事業費を組んでおり、掛かる一般財源については2億2300万円となっております。このうちこれまでやってきた事業では

なく市長が新規に掲げたマニフェストによって必要になった一般財源というのは約半分の1億1千万程度となっております。医療費の無料化や住宅改修助成などやっておりますが、特に住宅改修の助成などは市内の経済効果も相当ありますので、一般財源も掛かっていますが経済効果も生んでいるといったことをご理解を願いたいと思います。8ページにまちづくりのための特別枠ということで、16の事業を載せております。地域政策懇談会・こども夢トーク等こうしたことから市民の声を反映する予算として23年から執行的に行っているもので、単年度で実施するものもありますが、基本的に2、3年やって検証して継続・廃止を判断していこうという考えでやっております。24年度については16事業で約3千万の事業費を組んだところであり、去年日甜でビートまつりというのをやらせて頂きましたが大変市民の好評を得たところですが、今年度についてはトヨタ自動車と連携をしまして試験場でなんらかの催し物をしたいと考えているところでもあります。以上ざっとした予算概要の説明ということになりました。市長は常日頃から座して待つのではなくて市民の輪の中に飛

び込んでいろんな話を聞くという姿勢をとっており、まちづくり基本条例が4月から施行されておりますが、我々職員もまず行政が変わらなくてはならないといったことを常々申しますし、去年から地域担当職員制度もとっており、今年もより充実していこうという考えでおります。市政の執行にあたりましては、よりスピード、或いは実行力をもってあたっていこうといったことも求めています。我々職員こうした意を配しまして今後の市政執行にあたっていきますし、財政課と致しましては少しでも市民の負担を少なく安心して暮らしていけるような安定的な財政運営に努めていきたいと思っております。ただ市立病院の経営は最大の課題としておりますし新たな環境センターの建設など厳しい財政環境となっております。市民の皆さん、取り分けここにご参加の経済界の皆様一層のご協力をお願い申し上げまして私の説明とさせていただきます。どうも有難う御座いました。

平成24年 士別RCゴルフ同好会

■ 第1回 名寄RC・士別RC合同コンペ成績表 ■

2012年5月12日(土)
名寄白樺カントリー倶楽部

順位	氏名	OUT	IN	TOTAL	HD	NET	クラブ
優勝	駒津喜一	45	45	90	14.4	75.6	名寄RC
準優勝	梅野博	48	47	95	19.2	75.8	名寄RC
1位	木原豊太郎	47	47	94	18.0	76.0	名寄RC
2位	木賀義晴	49	43	92	15.6	76.4	名寄RC
3位	坂本和彦	44	45	89	12.0	77.0	名寄RC
4位	深尾幸夫	48	44	92	14.4	77.6	士別RC
5位	小林秀昭	54	50	104	26.4	77.6	名寄RC
6位	吉田肇	49	51	100	21.6	78.4	名寄RC
7位	國森和磨	49	50	99	20.4	78.6	士別RC
8位	長谷川充保	54	54	108	28.8	79.2	名寄RC
9位	若森孝	53	52	105	25.2	79.8	士別RC
10位	岡崎望	47	57	104	24.0	80.0	名寄RC
11位	北畠武	55	45	100	18.0	82.0	名寄RC
12位	佐藤元信	51	48	99	16.8	82.2	士別RC
B B	志村孝幸	52	53	105	21.6	83.4	士別RC
B M	近井孝義	52	55	107	21.6	85.4	士別RC